



神戸市会議員 (須磨区) **せいいち**
むらの誠一 33才

人は人の為に尽すを以って本分とすべし

曾祖父 **村野山人** (神戸村野工業高等学校創立者)
 の遺志を継ぎ政治家を志す

所属政党 **無所属**

所属会派 **自民党市会議員団**

所属委員会 **港湾交通委員会 (副委員長)**
大都市税財政制度確立委員会

(経歴)

- ・昭和49年2月2日 神戸市須磨区に生れる
- ・須磨浦小学校 卒業
- ・高倉中学校 卒業
- ・とび職として働きながら、大学入学資格検定取得
- ・芦屋大学(教育学部) 卒業
- ・兵庫県議会議員 故 伊田 宏 秘書
- ・衆議院議員 砂田圭佑 秘書
- ・平成15年 神戸市会議員選挙 初当選

米飯給食、週2回から3回へ!!

質 むらの議員 (学校給食について)

① 学校給食は教育！ 米飯の回数をもっと増やせないのか？

現在、神戸市の小学校の給食では、その主食はパンと米があるのですが、週5日のうちパンが3日、米が2日となっております。なぜ米よりパンの日が多いのか。また、それは本当に適切なのか改めて検討が必要なのではないでしょうか？

食習慣というのは、子供の頃に形づくられ長くその人の一生に付いて回るものです。小学校1年生から6年生までの6年間、子供たちは給食というものに日々接しながら、成長してまいります。給食というものが、食に対する意識の形成に強い影響を及ぼすことは、言うまでもありません。

また、残念なことですが、最近の家庭では、手間暇かけた食事や、団らんの中で摂る食事というものが少なくなってきている。これはこれで問題なんですけれども、一方で給食の重要性が益々高くなっているのではないかと思います。

このようなことを背景に、やはり日本に生まれ育っている子供たちには、日本の伝統的な食文化、いわゆるお米を中心とした食事に親しみを持ってより多く食する機会を提供すべきではないかと思えます。

② お米と牛乳の組み合わせ

先日、私も地元の小学校で給食を頂いてまいりました。その日は、米飯給食でしたが飲物は牛乳が出てまいりました。これにはかなり違和感を感じました。学校給食懇談会でも食べ合せについて議論があるようですが今後、米飯回数と共に合わせて考えて頂きたいと思えます。



お米×牛乳 違和感!?



< 平成18年度予算特別委員会 総括質疑 2006.3.16 >

③ 教育行政を預かる者として、 しっかりとした認識を！

最後に、要は教育行政の決定権を持っている方々がどれだけ食の重要性を認識しているか、これによって米飯給食であるとか学校給食の献立というものも大いに変わってくると思うんです。本来どうあるべきなのか、初等教育課程における子供たちにとって何が良いのか、必要なのか、無限の可能性を持った子供たちの将来を形づくる問題として、徹底的に議論して頂きたい。

答 教育長

米飯給食の回数、神戸市 週2回、他都市 週2.9回

米飯給食の回数でございますけれども、昭和57年に全市週1、昭和61年から週2回の米飯の給食を実施しています。他都市等は、平均2.9回で神戸市の米飯給食は、大変少ない回数となっております。

現在、学校給食の問題につきましては、学校給食懇談会にて検討を頂いております。米飯の回数増につきましても、是非とも前向きに検討していきたいと思っております。

(議事録要約抜粋)

政治家は癒着を断ち切れ！

むらの誠一は特定の企業・団体からの献金を一切頂いておりません。

つづク